

2025 年度 工学院大学学園祭実行委員会新宿祭実行部 総括

工学院大学学園祭実行委員会新宿祭実行部

部長 原 直路



1. 組織構成

学園祭実行委員会新宿祭実行部に所属する 28 名によって構成された。組織体制としては、渉内局、渉外局、コンサート局、企画局、資料局、広報局、技術局の計 7 局と部長、副部長、会計の三役によって構成された。

2. 方針

本実行部は、2 年間の八王子祭実行部での経験、技術を駆使して、新宿祭を企画・運営する。今年度の新宿祭はより発展していくために、新要素の開拓と広報に力を入れコンテンツ力と集客面の改善を図る。そして、来場者の需要を理解し、来場者目線での企画・運営を行い、従来コンテンツの強化を行うことで、参加団体、来場者の満足度を向上させることを方針とする。

3. 目的

本実行部は、11 月に行う新宿祭を企画・運営する組織である。新宿祭を円滑に運営し、広く学生への参加意欲を喚起し、参加団体・来場者の満足度を向上させるとともに、学生生活の充実向上に寄与し、本学の発展に寄与することを目的とする。また学園祭という幅広い対象者が来場する場を設けることで、本学の広報にも寄与する。

4. 活動内容

(ア) 新宿祭全体会議

新宿祭を円滑に運営し、来場者、参加団体に満足していただくために、委員の意識統一及び向上を行い、団体内の結束を強めた。また団体内での情報共有を行い、本実行部全体での活動を本実行部全員が理解し、局ごとの情報伝達の差を無くすために行った。

(イ) 学園祭全体会議

別々のキャンパスで活動を行う八王子祭実行部と新宿祭実行部の間で情報共有をすることと、委員会全体での意識統一及び向上を目的として行った。また両実行部での問題を共有、討論をし、改善を努め、より良い実行部、委員会の体制を築いた。

(ウ) 八王子祭

八王子祭実行部が 9 月に八王子キャンパスで開催した八王子祭にて模擬店の出店を行った。また、新宿祭実行部の委員が運営に加わり、それまでの経験を活かして、八王子祭実行部のみでは目の行き届かない部分の管理を行い、八王子祭をより安全に円滑に運営することに繋げた。

(エ) 新宿祭

本実行部は、学生が学術・文化活動の成果を発表する場を企画・運営し、本学の広報及び発展に寄与することを目的とし、11 月に新宿キャンパスで行う新宿祭を企画・運営した。ステージ企画、教室展示、模擬店を中心とした学生団体の発表の場を提供し、日々の活動の発展と今後の活動の促進及び学生生活の充実、向上につなげた。また来場者の新宿祭への満足感により、本学の知名度向上につなげ、本学の広報に貢献した。

次に今年度のテーマである「昭和レトロ」の世界観にキャンパス全体を統一し、来場者、参加団体を非日常の世界に引き込むための装飾を行った。また、新宿キャンパスの特徴である、外部の世界の雰囲気と差別化できる閉鎖空間を活かし装飾を施した。

アトリウムには特設ステージに参加団体の発表の場として設置した。そしてアーティスト、芸人を招致してのアーティストやお笑いライブ、文化会主催の声優トークショーや参加団体による発表、本実行部が主催する企画といった、老若男女の来場者に合わせた様々な企画を行った。これらは多くの来場者を楽しんでいた、新宿祭の満足度向上につながった。

キャンパスの外部では、模擬店を開催し、閉鎖的な新宿キャンパスの外部とのつながりを生むことができた。今年度はキャンパス南側に新たな模擬店エリアを設けることで、地域と連携した新宿祭の発展に寄与することができた。また来場者が多くのコンテンツに回りやすくなるために新宿祭堪能スタンプラリーを実施し、参加団体の発表の場への来場者を誘導し、来場者の満足度と参加団体の満足度の双方を向上させた。

1 階東口付近の階段では、新宿キャンパスのビル型キャンパスの特徴を活かした独自の企画である鉄人 29 階を実施した。来場者には、新宿キャンパスの魅力を体感してもらい、本学に興味を持っていただき、本学の発展に寄与することができた。

次に広報活動は、例年、本学内外に行っていた情報宣伝から、拡充して行い、さらなる新宿祭の認知度向上につなげることができた。それらの広報活動を基盤に、改善されたコロナ禍以降の来場者数をさらに増加できるように今年度は新宿祭をより発展させることで来場者、参加団体、本学の満足度を向上させることができる。そのため昨年に引き続き、メインとなる来場者の対象者を中高生として考えることで、広報活動を充実させた。また、主な対象者を中高生とし、大学受験を意識している中高生に向けて本学自体の雰囲気から本学学生の雰囲気まで多くの面を知ることが出来る場を提供した。

新宿祭で、様々なコンテンツを行うことで、学生団体の発表の場を幅広く提供し、参加者を様々なコンテンツに参加させるよう誘導し、双方の満足度を上昇させ、新宿祭の魅力を向上し、来場者数を増加させることで、本学の広報につなげた。

以上を 2025 年度学園祭実行委員会新宿祭実行部の総括とする。